

JUKI

ジューキロックミシン
MO-104S

取扱説明書

No.00

AJ1040S0B0A

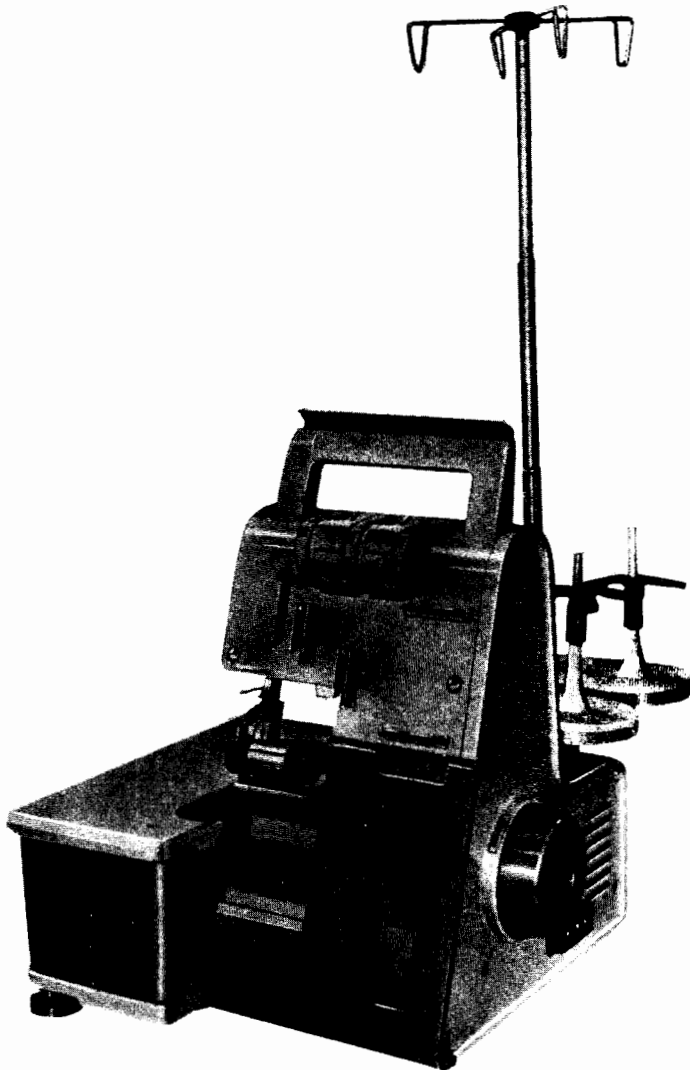
ジューキロックミシンMO-104型を
お買い上げいただきまして、ありがとうございました。

このミシンは綿、ウール、レーヨン、トリコット、ジャージ、ニットなど、薄地から厚地まであらゆる繊維製品に対して、すぐれた機能を発揮する安全縫い（縁かがり縫い・二重環縫い）ミシンです。

このジューキロックミシンMO-104型を充分にご活用いただきます為には、何よりも正しい使い方が基礎になります。どうぞ、この説明書をよくお読みになって、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

万一、ミシンについてお分かりにならないことやご不審な点がございましたら、お近くのサービスセンター又はもよりの支店へご遠慮なく、お申し越してください。

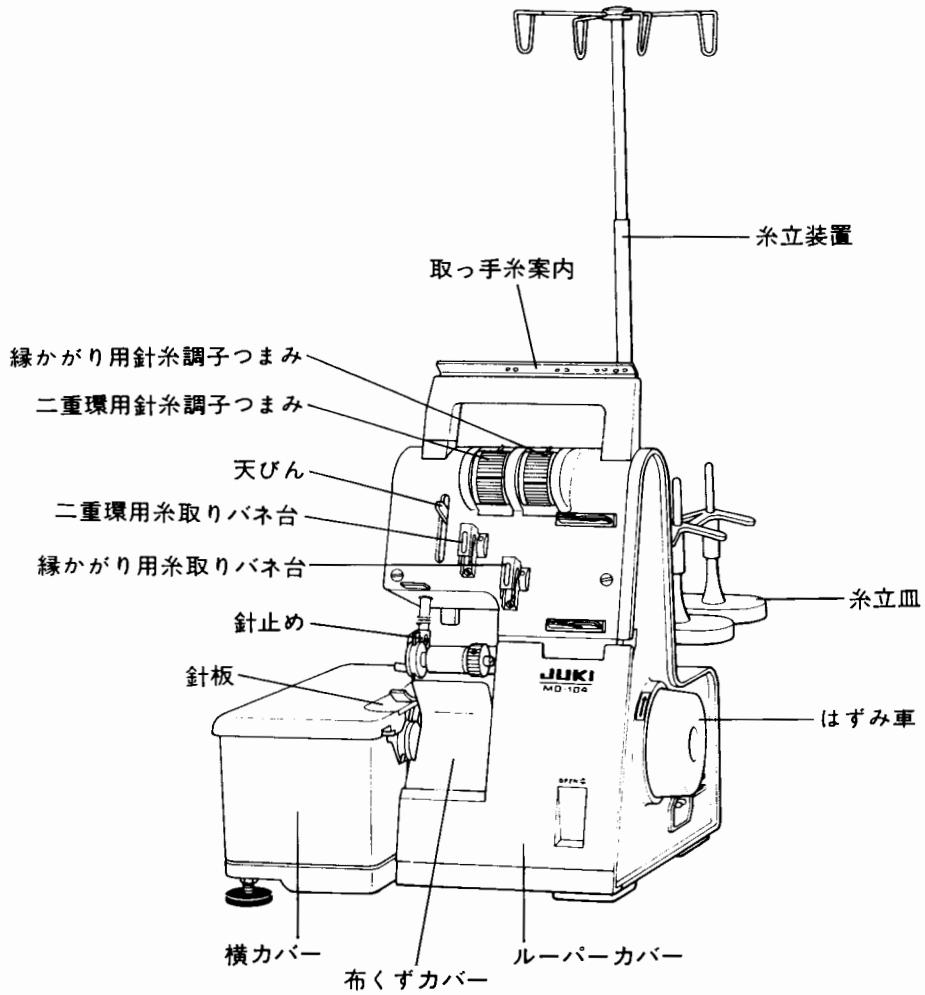
あとあとのサービスに万全を尽くし、ご奉仕申し上げます。



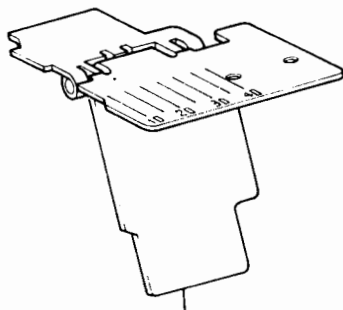
目 次

各部の名称	1
運転のしかた	2
コントローラーの使いかた	2
モーターご使用上の注意	2
糸立ての組みかた	3
家庭用の小型糸巻の使いかた	4
注油	5
水平位置の調整	5
糸のかけかた	6
縁かがり縫いのとき	6
二重環縫い(地縫い)のとき	7
安全縫いのとき	8
縫いかたの要領	8
安全縫いをするとき	8
二重環縫いだけをするとき	10
縁かがり縫いだけをするとき	11
針の取り付けかた	11
糸調子のとりかた	12
安全縫いのとき	12
縁かがり縫いのとき	12
二重環縫いのとき	13
●そのほかの調節のしかた(縁かがり縫い・二重環縫い)	14
押え圧について	14
送り目盛の調節	15
メスの交換	16
上メスの交換	16
下メスの交換	17
ミシンランプを取り付けるとき	17
調子よく縫えない原因と調整のしかた	18
布地と糸との関連表	19
付属品の明細	19
MO-104の仕様	19
梱包名細	19

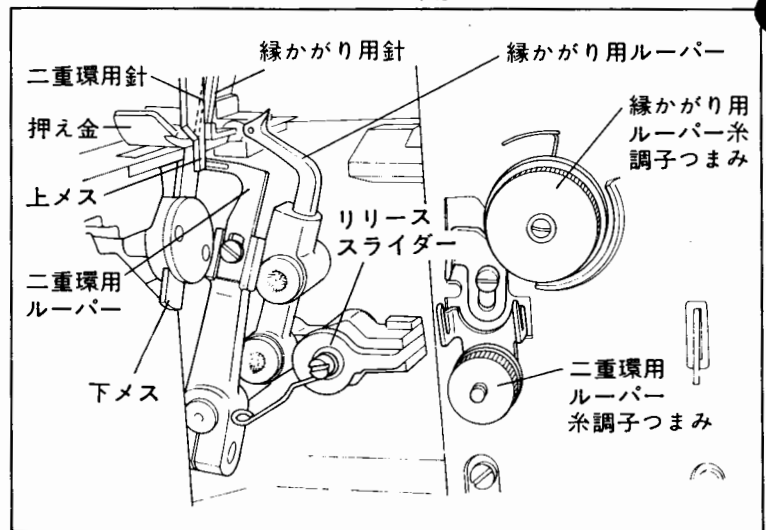
各部の名称



ルーパーカバーを開いたところ

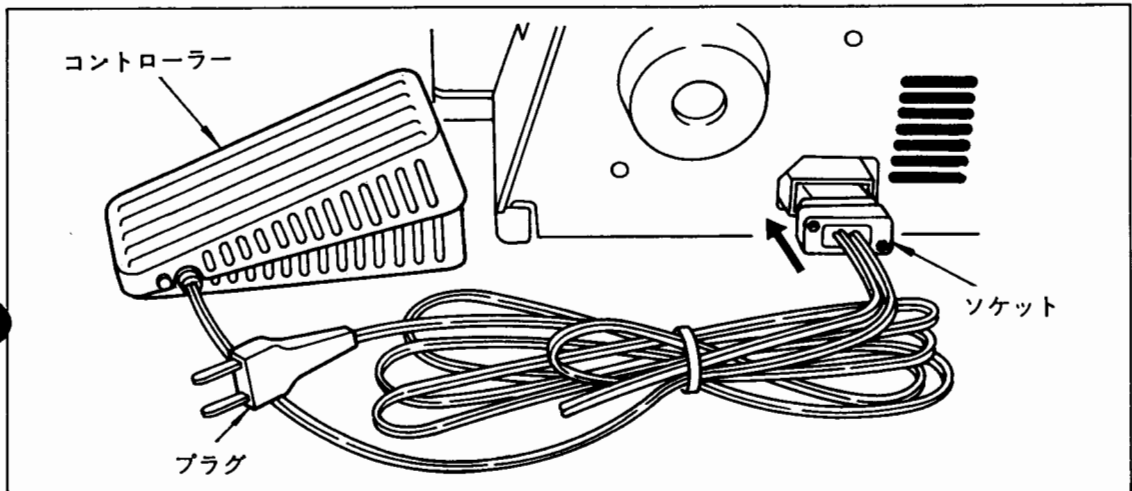


補助ベット(縫い代ゲージ)

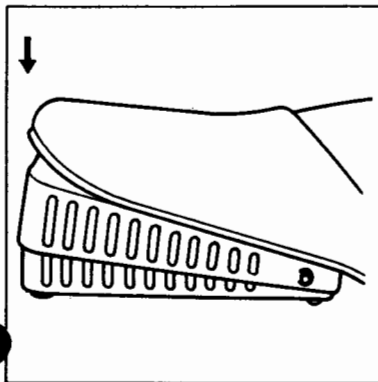


運転のしかた

このミシンは必ず平らな机または、テーブルの上に水平に置いて、ご使用ください（5ページ参照）
図のようにコントローラーのソケットを本体接続部に差し込みます。次にプラグを電源に接続してください。



コントローラーの使いかた



1. コントローラーに、図のように足をかけます。
2. コントローラーを強く（深く）踏めば早く回転し、弱く（浅く）踏めば遅く回転します。踏み加減でミシンの縫い速度を調節してください。

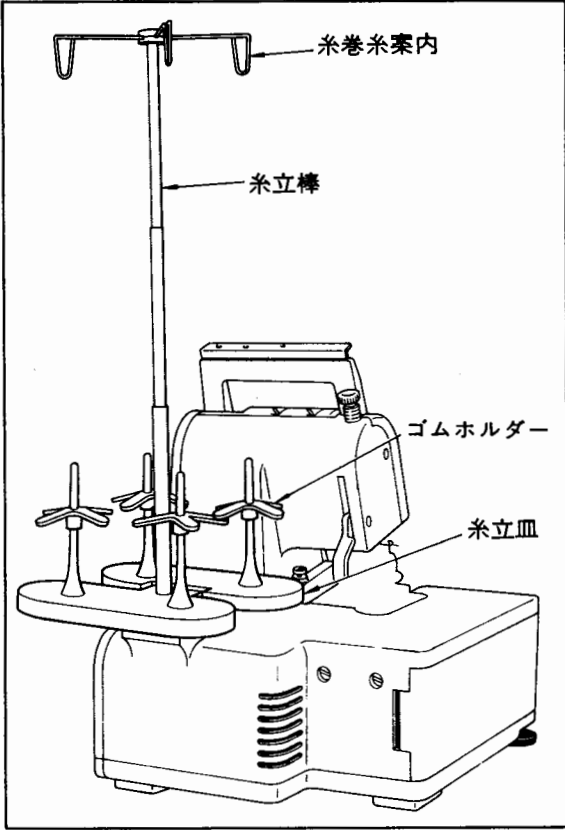
モーターご使用上の注意

- このミシンの縫い速度は毎分最大1500針です。
- モーターの回転は家庭用の本縫ミシンのモーターと違い逆方向に回転します。
- ミシンを連続してお使いになりますとモーター及びコントローラーが少し暖かくなりますが性能上では差しつかえありません。
- モーターの運転中、フリーと反対側のモーターブラケットの通風孔から小さな火花が見えますがこれは、カーボンブラシと整流子との間で整流作用が行われる火花です。そのまま安心してお使いください。
- ミシンをお使いにならないときには、プラグをコンセントから抜いておくように心掛けてください。

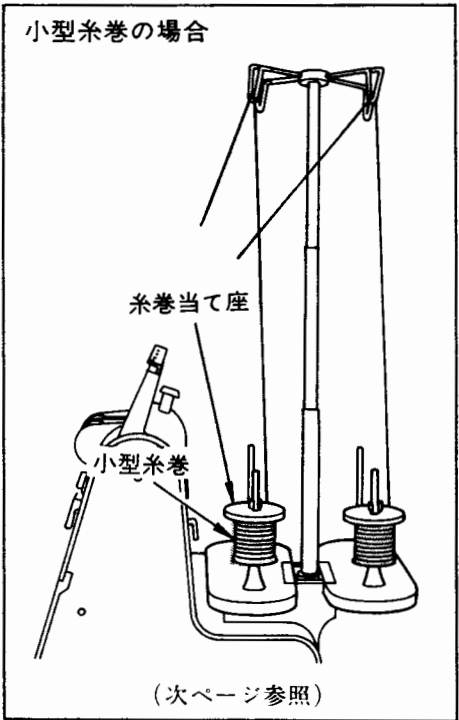
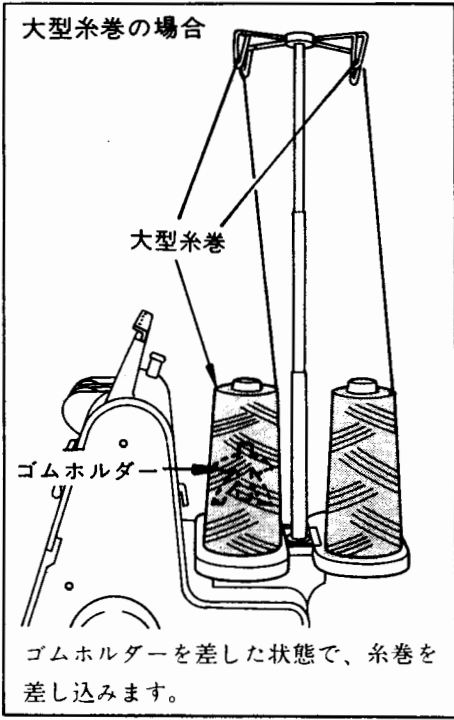
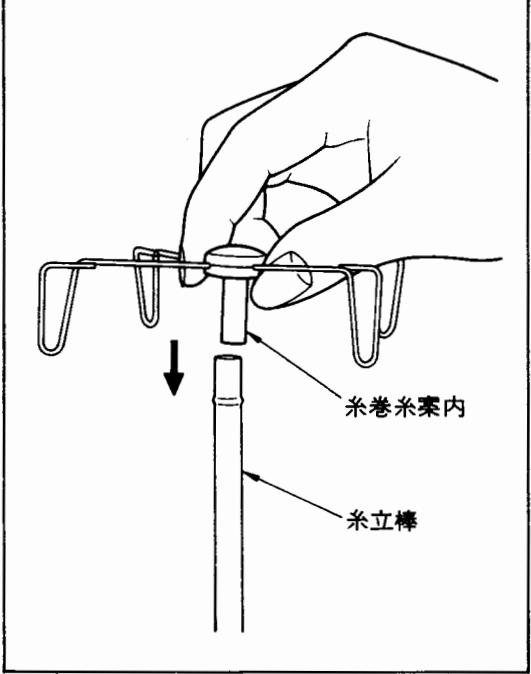
ミシンをお使いにならない時

- プラグを必ず室内コンセントから外してください。この時プラグを必ず手で持って外してください。
- コントローラーの上に物をのせないでください。

米立ての組みかた

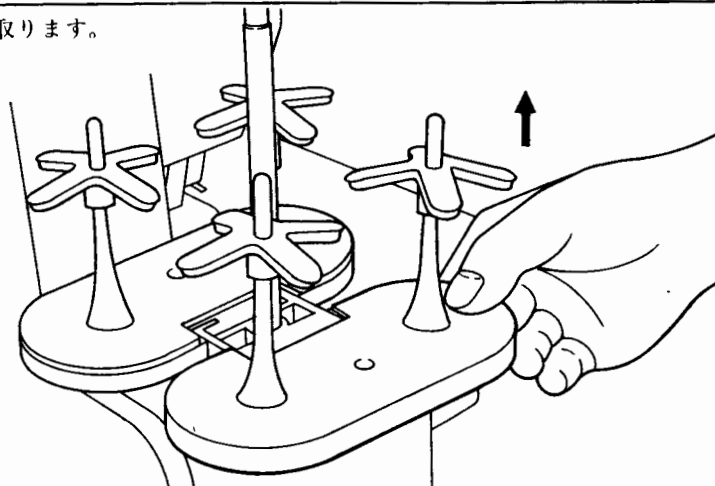


糸巻糸案内を糸立棒の上端に差し込みます。
 このタイプには特に糸からみを防止する為、
 ウレタンシートが取付けてありますので、そ
 のままご使用ください。

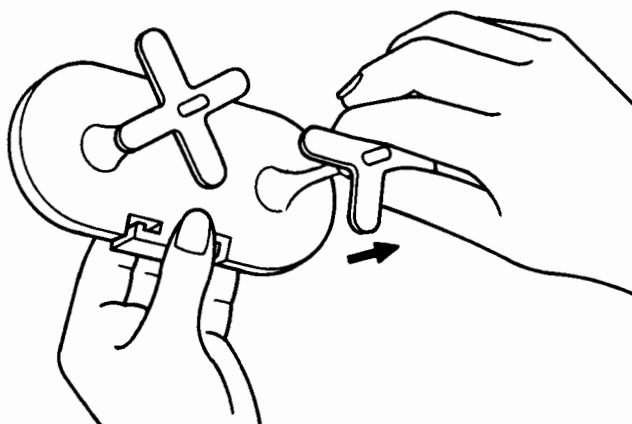


家庭用の小型糸巻の使いかた

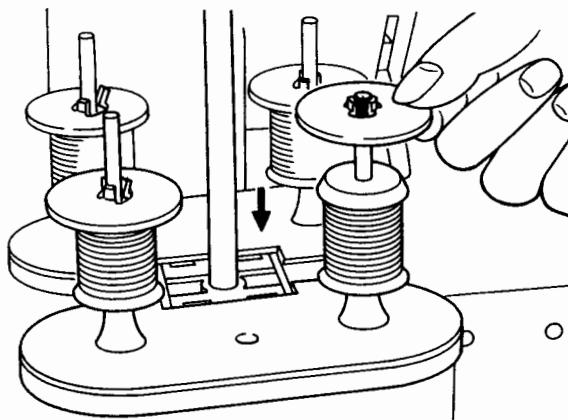
1. 糸立皿を抜き取ります。



2. 次にゴムホルダーを引き抜きます。

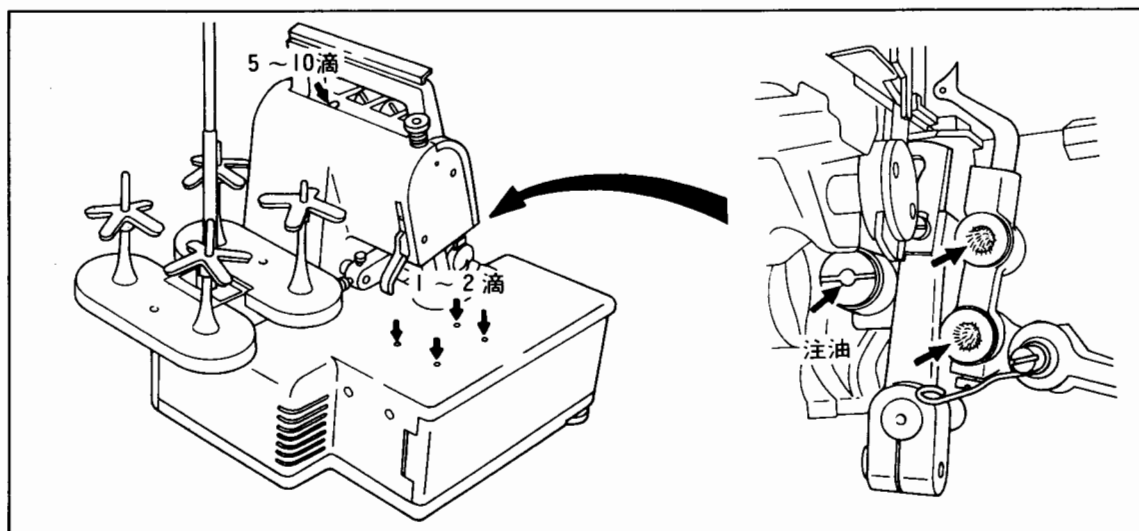


3. 再びカバーの取付みぞに差しこみ、糸巻を入れてから糸巻当て座を差しこみますと、糸が糸立棒にからみつきません。

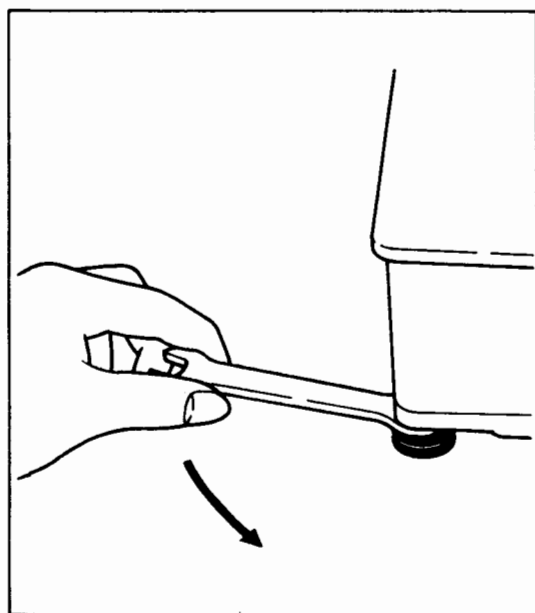


注油

お使いになる前に必ず指定の油穴に適量の注油をしてください。
1回の注油は1～2滴にしてください。



水平位置の調整



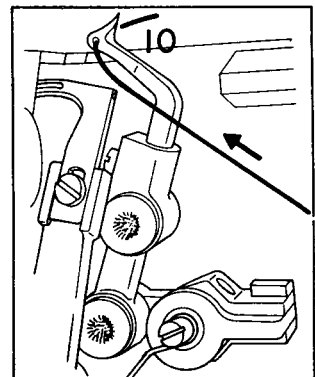
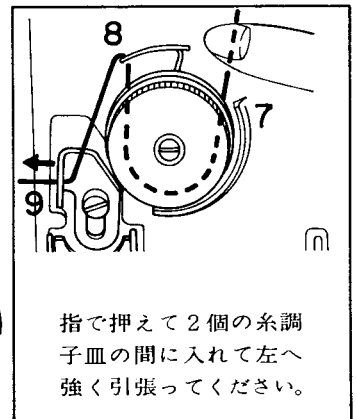
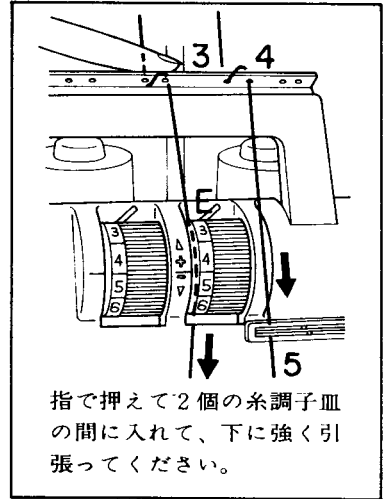
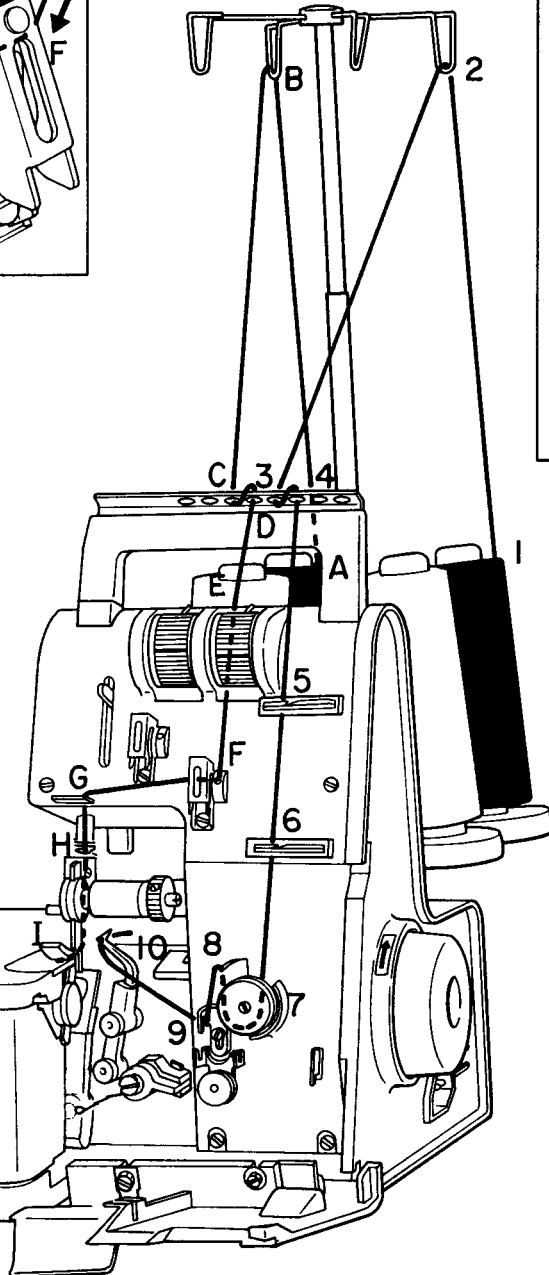
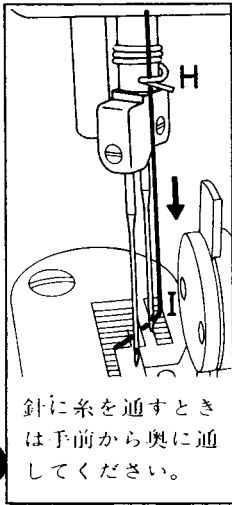
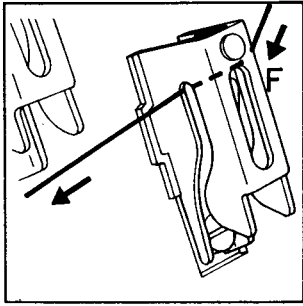
マシンが上下にガタガタする場合は運転中に振動が多くなりますので、次のように調整してください。

1. 付属品のスパナでナットを左に回してゆるめます。
2. ゴム座を左に回すとマシン全体が高くなり、右に回すとマシン全体が低くなります。
3. 上下にガタガタしなくなったところで再びナットを締めます。

糸のかけかた

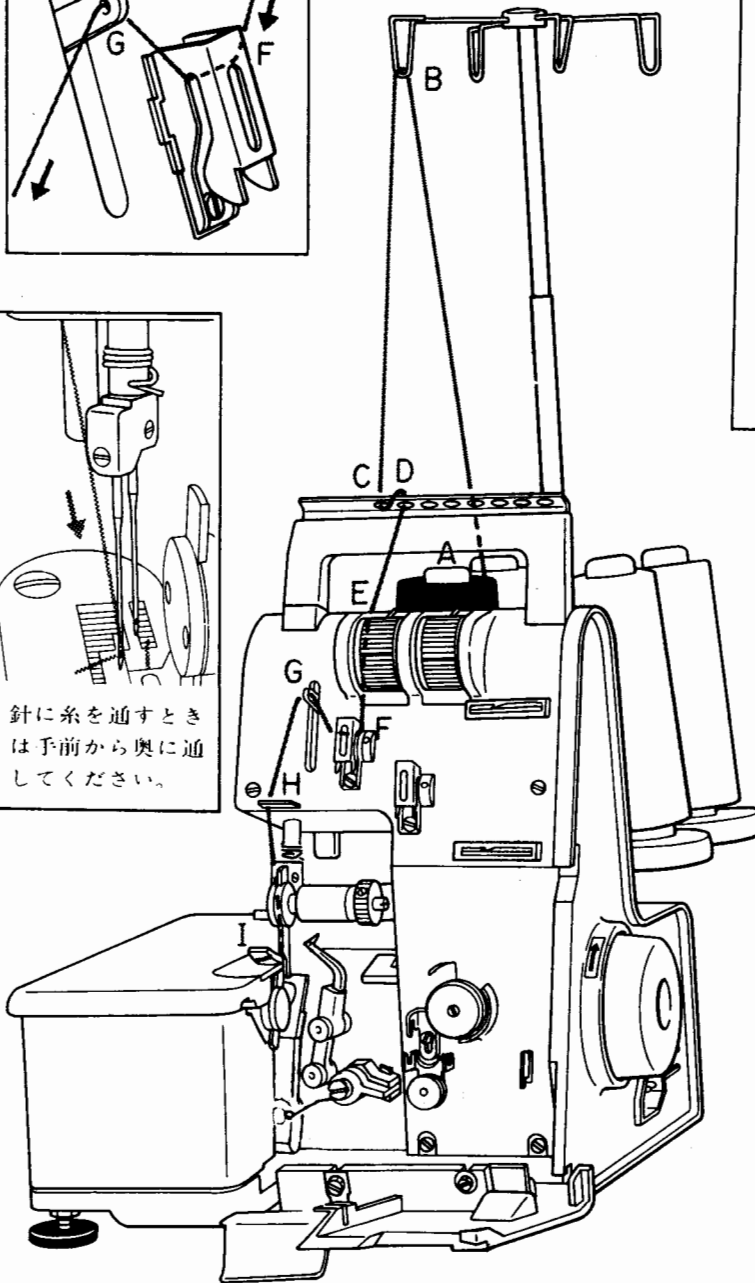
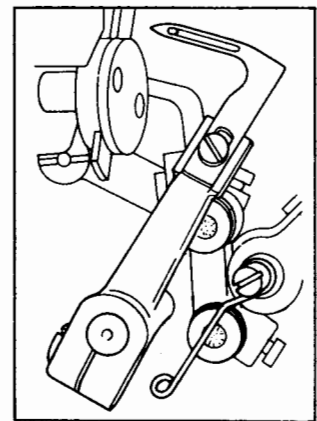
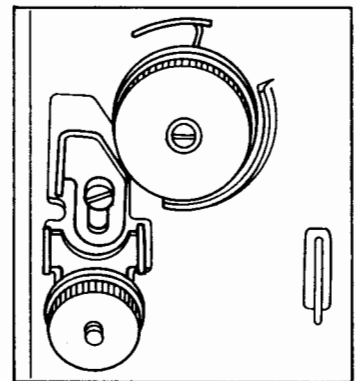
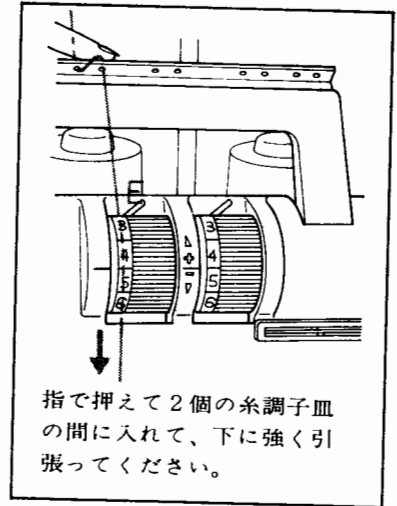
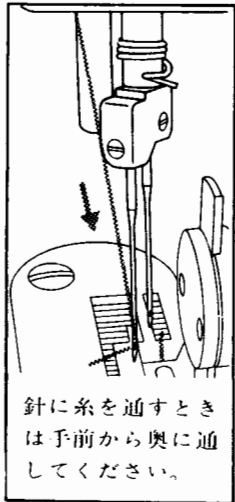
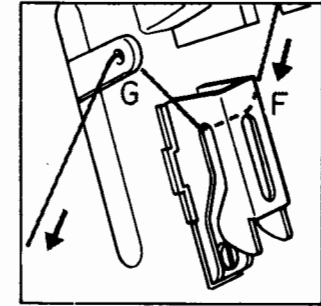
縁かがり縫いのとき

- ①図の通りに正しく糸を通してください。
- ②糸はルーパー糸から通してください。
- ③家庭用の小さな糸巻を使用されるときは、糸巻の上に糸巻当て座をのせてください。
- ④糸は針、ルーパーの各穴から5 cm程度引き出してください。

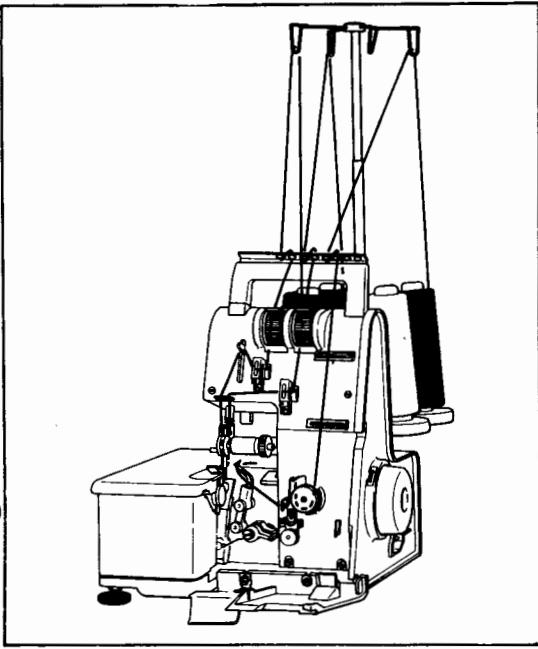


二重環縫い(地縫い)のとき

- ①図の通りに正しく糸を通してください。
- ②糸はルーバー糸から通してください。
- ③家庭用の小さな糸巻を使用されるときは、糸巻の上に糸巻当て座をのせてください。
- ④糸は針、ルーバーの各穴から5 cm程度、引き出してください。



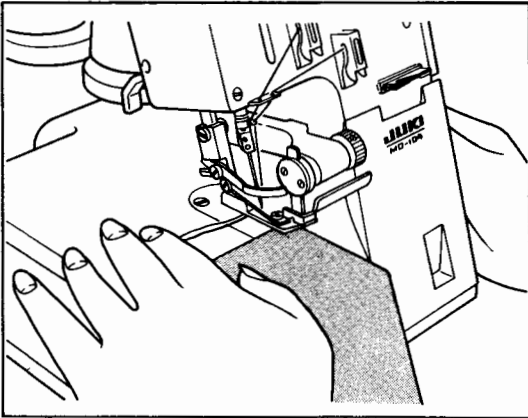
安全縫いのとき



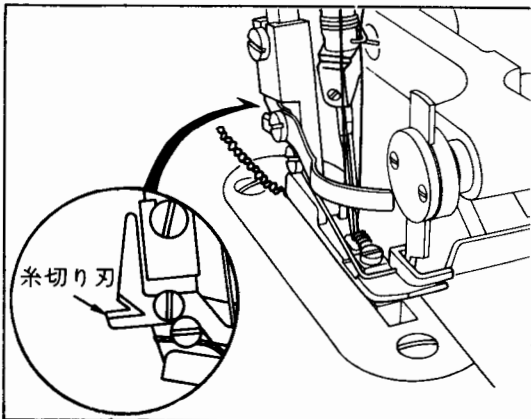
図のように4本の糸を“糸のかけかた”の縁かがり縫いと二重環縫いのときを参照して通してください。(6ページ)

縫いかたの要領

安全縫いをするとき

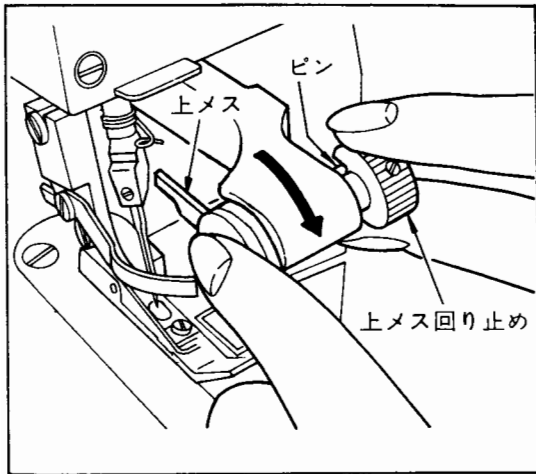


1. 糸かけの終わった縁かがり用針糸と縁かがり用ルーパー糸の両端を図のように左手の指で少し張りぎみにつまみます。
2. 布地を押え金の下にセットし、ゆっくり二、三針送ってください。



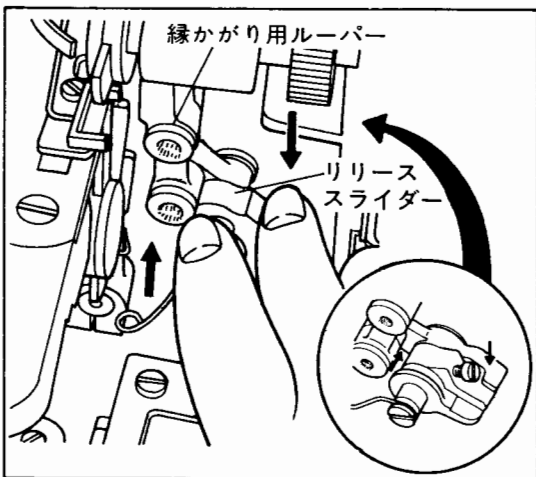
3. 縫い終りは、図のように布地の端から空縫いを2~3cm長く出して、その空縫い糸を押え金についている糸切り刃で切断してください。

このミシンは出荷のとき、各部のセット状態は安全縫い用にしてあります。
念のため次のような順序で点検してください。



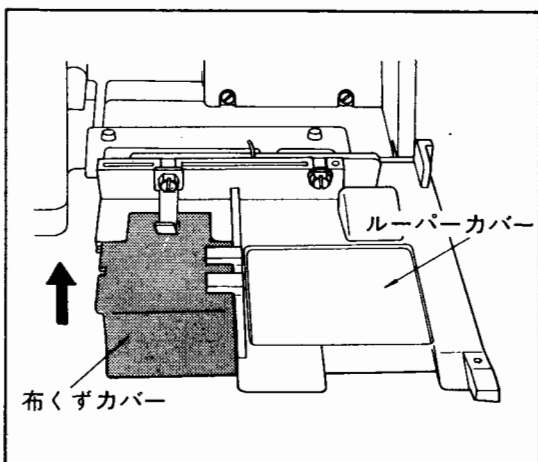
上メスの刃先が下に向いているか確認してください。

もし、下に向いてないときは図のように左指で押しながら、上メスの刃先を手前に回して、上メス回り止めの溝にピンを入れてください。



リリーススライダーは溝のいちばん奥まで入っていますか。

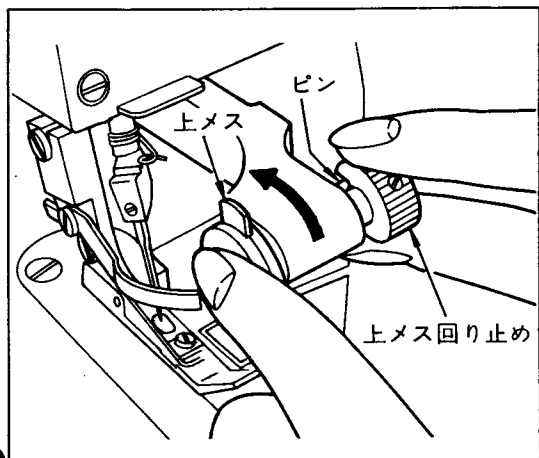
もし、リリーススライダーが手前に出ていたら、図のように、縁かがり用ルーパーを持ち上げ、リリーススライダーを赤線が隠れるまで奥に入れてください。



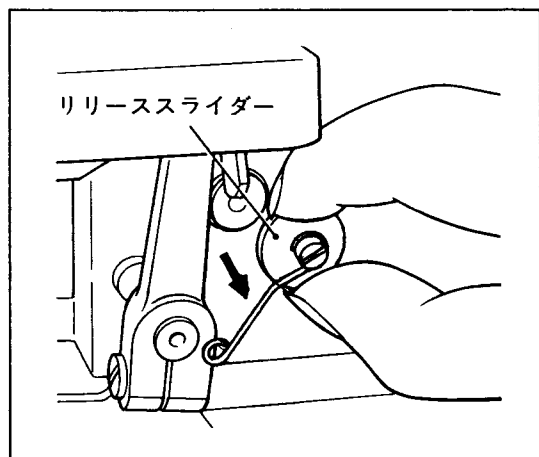
布くずカバーが正しくルーパーカバーに取り付けられているか確認してください。

もし、取り付けられていないときは図のように矢印の方向から入れてください。

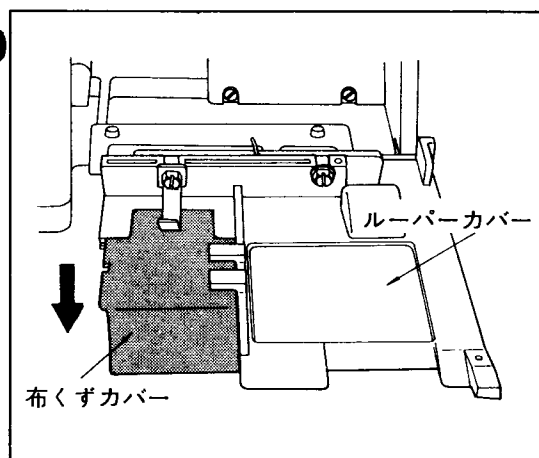
二重環縫いだけをするとき



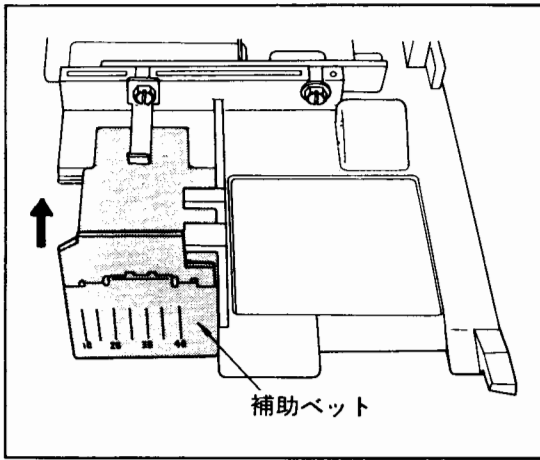
図のように左指で押しながら、上メスの刃先を後側に回して、上メス回り止めの溝にピンを入れてください。



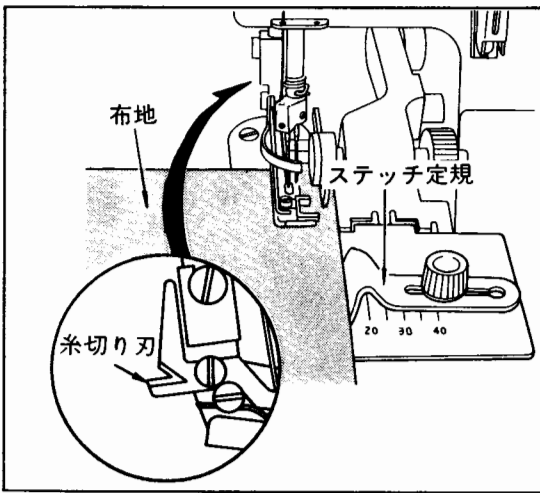
図のようにリリーススライダーを手前に止まるまで引っ張ってください。
これで縁かがり用ルーバーが動きません。



図のようにルーバーカバーを開き、布くずカバーを矢印の方向に抜き取ってください。



補助ベット（縫い代ゲージ）を図のようにセットしたらルーバーカバーを元の位置に戻してください。



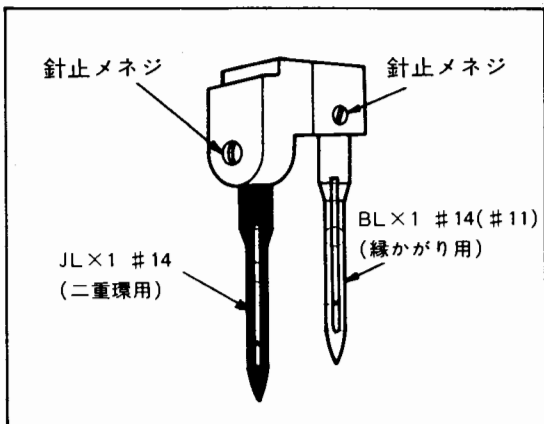
1. 図のように布地を押え金の下にセットします。
2. 縫い始めの1～2針はとくにゆっくり送ってください。
3. 縫い終りの空縫い糸は押え金についている糸切り刃で切断してください。
4. ステッチ定規は別売りです。

縁かがり縫いだけをするとき

1. 二重環用針を抜いてください。
2. 縫いの始めと終りは安全縫いの1. 2. 3.を参照してください。

針の取り付けかた

このミシンに用いる針はBL×1（縁かがり縫専用）#11、#14とJL×1（二重環縫専用）#14です。針の太さは、使用する布地や糸の太さによってきめますが、標準は#14です。



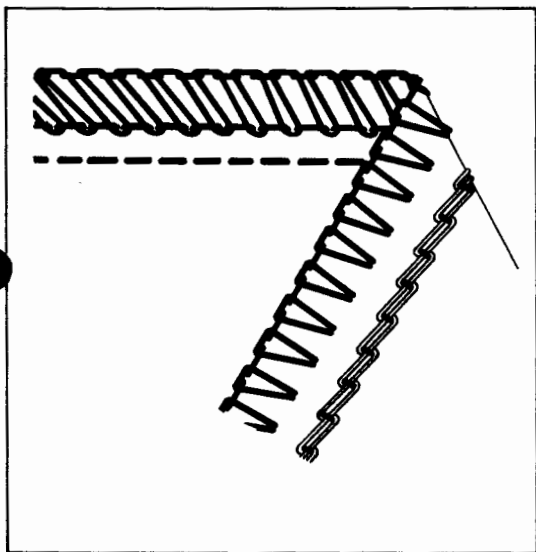
- ①針を取り付けるには針棒をいちばん上まで上げます。
- ②針止メネジをゆるめて、針留めの針穴の奥まで差し込みます。
- ③針のエグリ部が裏側になることを確認してから針止メネジを締めてください。

〔注〕トリコット、ジャージ、メリヤス等のニット地を縫う時は、付属品の中の#11の針をお使い下さい。

糸調子のとりかた

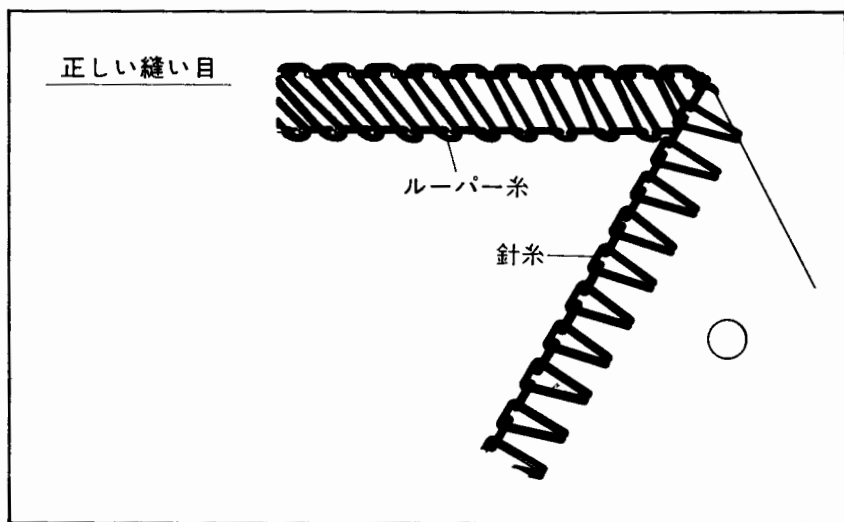
糸調子のとりかたは布地の種類や糸の太さの種類により、まちまちですから、そのつど縫い目を見ながら調子を出してください。

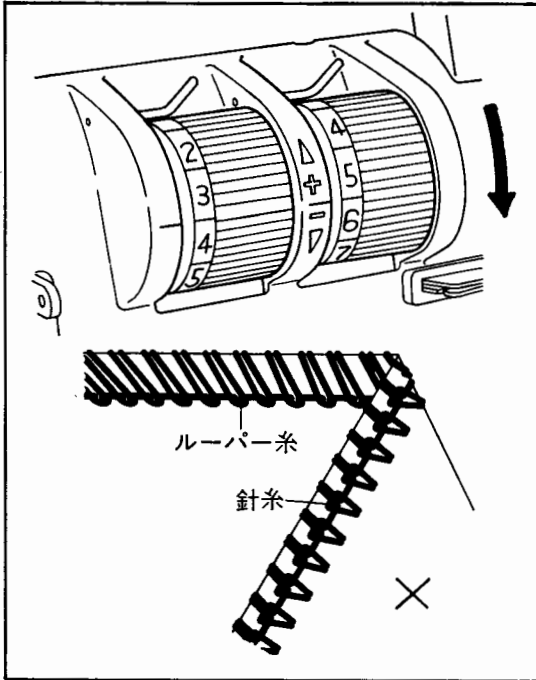
安全縫いのとき



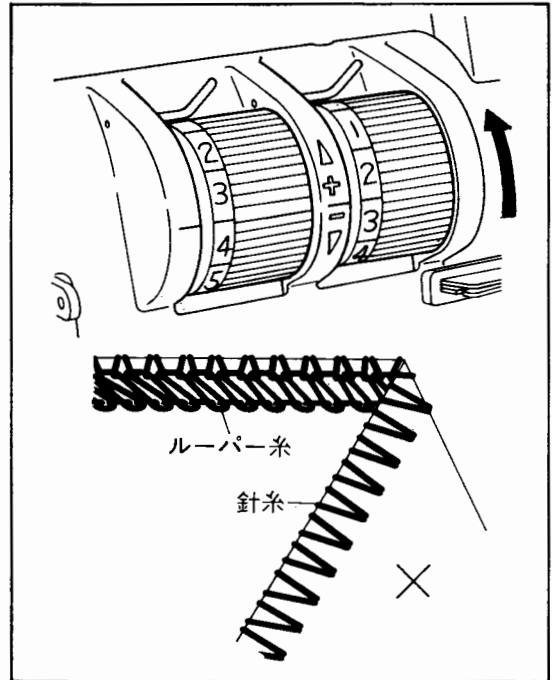
調節のしかたは各々の縁かがり縫い、二重環縫いの要領にしたがって行なってください。

縁かがり縫いのとき



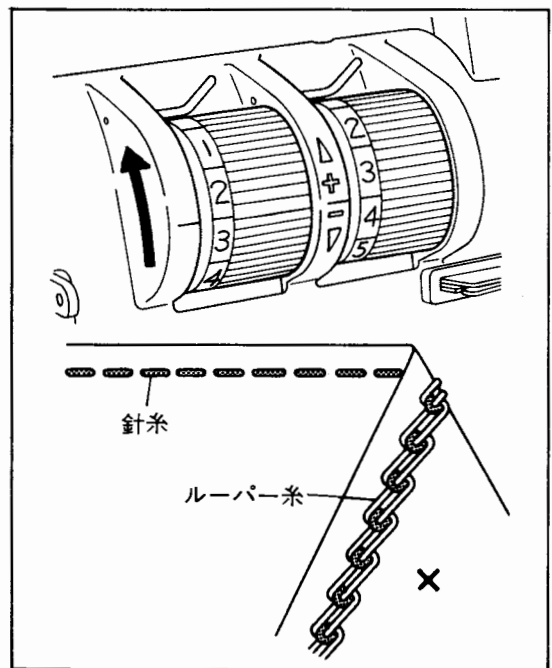
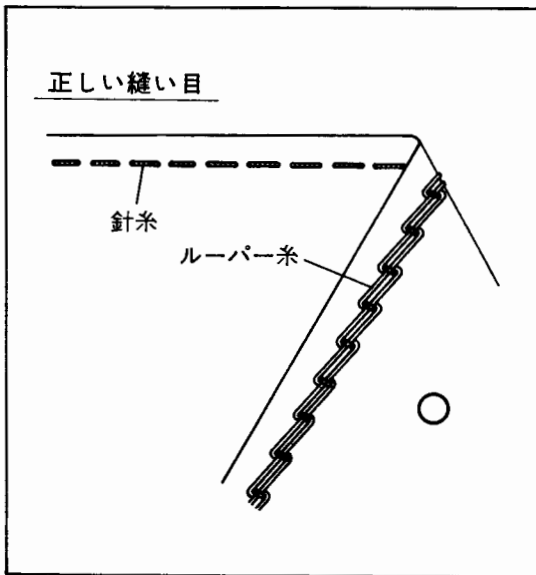


針糸が強い場合です。この時は右の縁かがり用針糸調子つまみの目盛数字も小さくします。



針糸が弱い場合です。この時は右の縁かがり用針糸調子つまみの目盛数字を大きくします。

二重環縫いのとき



針糸が弱い場合です。この時は左の二重環用針糸調子つまみの目盛数字を大きくします。

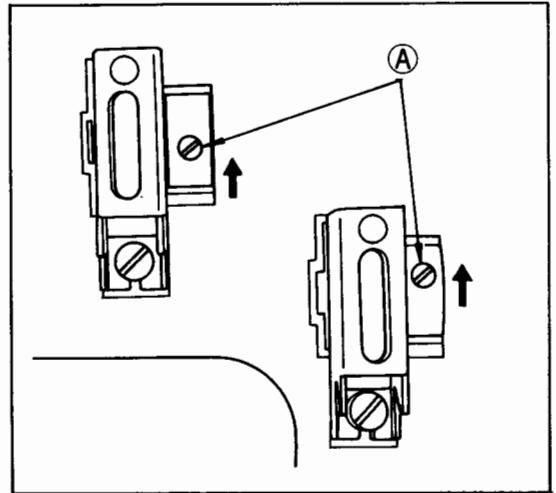
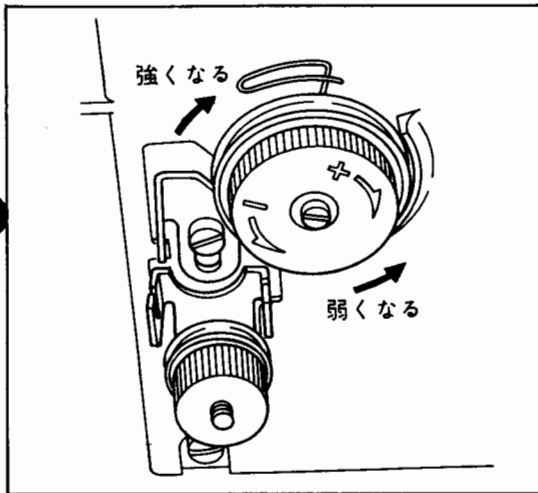
そのほかの調節のしかた（縁かがり縫い、二重環縫い）

縁かがり用ルーバー糸調子つまみは使用糸を変えた時には調節をほとんどする必要はありません。しかし、極厚地を縫う時にま、張力を強くして下さい。

時計方向に回しますと強い糸張力になります。反時計方向に回しますと弱い糸張力になります。

二重環用ルーバー糸調子つまみは使用糸、使用生地を変えても調節の必要はありません。出荷時の張力は非常にゆるくセットしてあります。これが正規の状態です。

さらに化繊糸で使用する時は綿糸の合せよりもネジ①をゆるめて、少し上側へ回して下さい。この時糸取りバネが働いていることを確認して下さい。

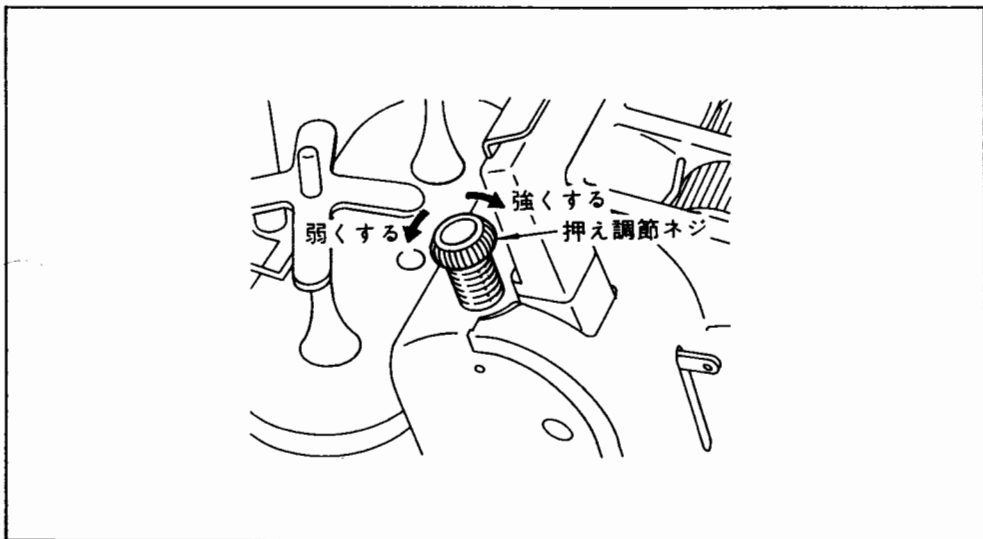


押え圧について

このミシンはすでに押え圧力を標準（中厚物）に調節してあります。

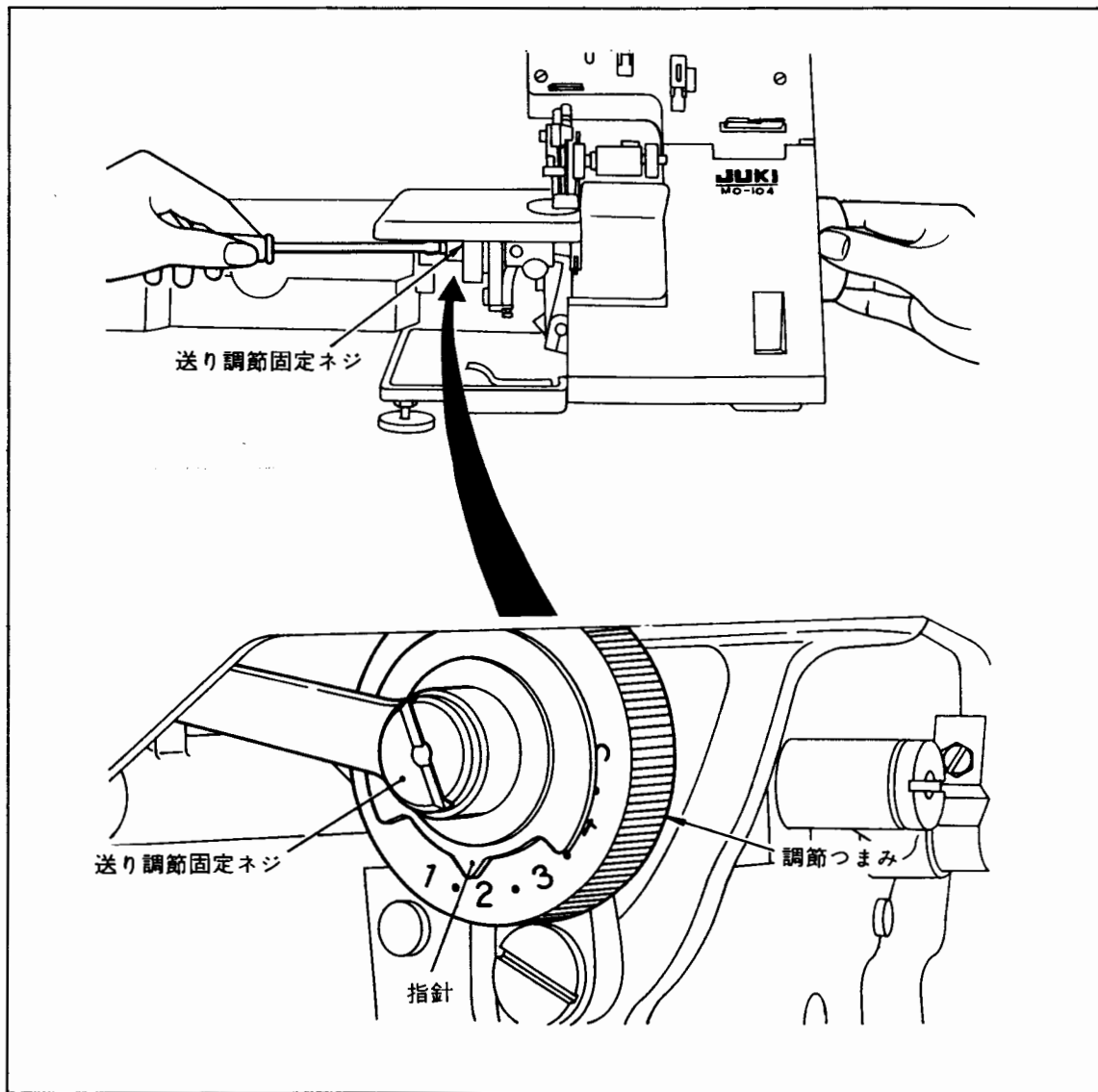
薄い布地（トリコット、デシンなど）は押え圧力を弱く、厚い布地は押え圧力を強くします。

図のように押え調節ネジを回して調節してください。



送り目盛の調節

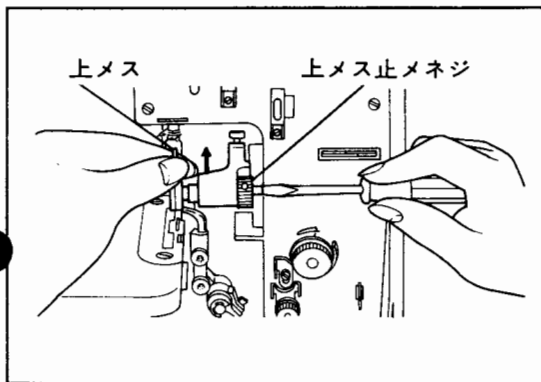
- ①横カバーを開き、右手ではずみ車を押え、付属品のドライバーで送り調節固定ネジをゆるめてください。
- ②つぎにつまみを回して目盛を指針に合わせてください。
- ③調節が終わったら送り調節固定ネジを強く締め付けてください。



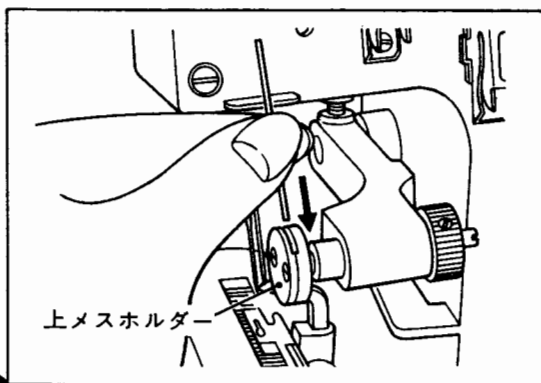
メスの交換

はじめに必ず電源プラグを抜いてから作業してください。
メスは消耗品ですので切れなくなったら交換してください。
下メスの予備が付属品箱の中に1個あります。

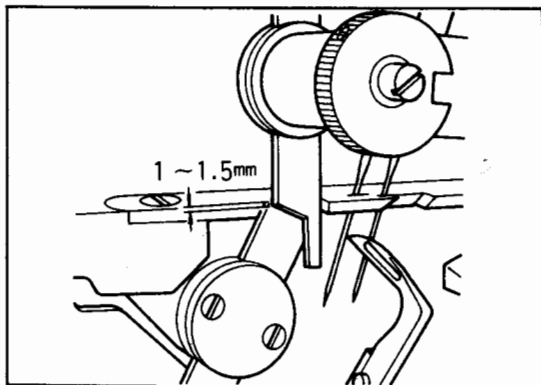
上メスの交換



上メス止メネジをゆるめて、上メスを上に引き抜きます。

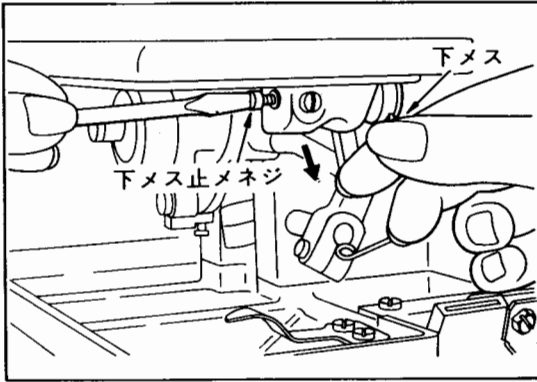


取り付ける時には、上メスの刃面を左に向けて上メスホルダーを右へいっぱい押しながら上メスホルダーの溝に沿って、上から差し込み、上メス止メネジを軽く締めます。

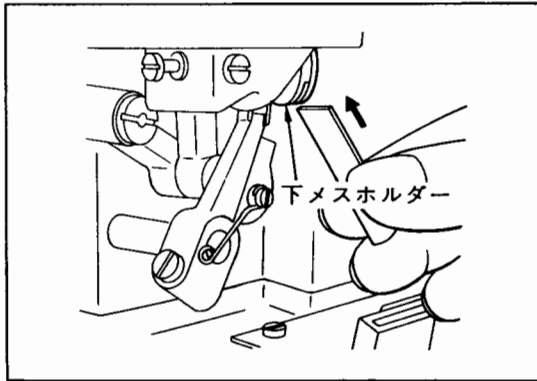


次にはずみ車を回して上メスが、いちばん下がったとき、上メスの刃先が、下メスの刃先と1~1.5mm重なるように確認してから、上メス止メネジを強く締めつけてください。

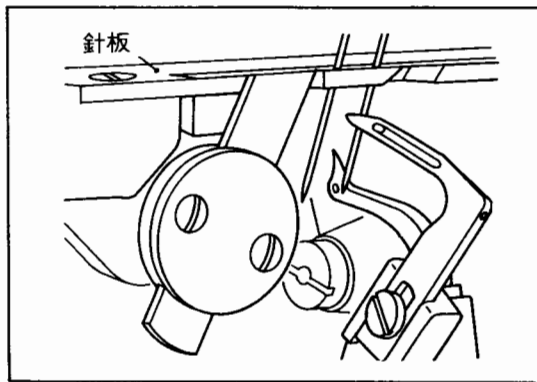
下メスの交換



下メスを取りはずすには、下メス止メネジをゆるめ、下メスを下へ引き抜いてください。

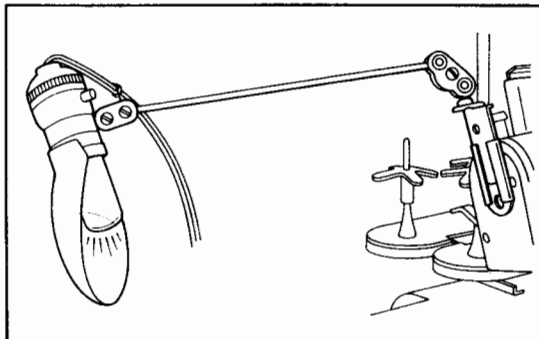


取りつけるには、下メスの刃面を右に向け下メスホルダーの溝に沿って下から差し込みます。ホルダーの溝にピンが出ているときはピンセットで押し入れてください。



つぎに下メスの刃先を針板上面と同じ高さに位置決めし、下メスが動かないように、しっかりと保持して下メス止メネジを締め付けます。

ミシンランプを取り付けるとき



ランプをお使いになる場合は、別売りされているミシンランプを図のようにとりつけてください。

調子よく縫えない原因と調整のしかた

つぎのような故障がありましたら必要に応じて下記の調整をしてください。

故 障	原 因	調 整
布地を送らない	○布押えの圧力が弱すぎる場合	押え調節ネジを右へ回し、押え圧を強くします。
針が折れる	○針が曲っていたり、針先がつぶれている場合 ○針の取りつけが悪い場合 ○布地を無理に引っ張った場合	新しい針と取り替えます。 正しく取りつけます。 縫っている時は布地に手をそえるだけにします。
糸が切れる	○糸の通し方が間違っている場合 ○糸調子が強すぎる場合 ○針の取りつけが悪い場合	正しく通しなおす。 12ページ参照。 8ページ参照。
目飛びがする	○針が曲っていたり、針先がつぶれている場合 ○針の取りつけかたが不完全な場合 ○糸の通しかたが間違っている場合 ○布押えの圧力が弱すぎる場合	新しい針と取り替えます。 正しく取りつけます。8ページ参照 正しく通しなおします。6ページ参照 押え調節ネジを右へ回し、押え圧力を強くします。
縫い目の調子が悪い	○糸調子が完全でない場合	12ページ参照
縫い物にしわがよる	○糸調子が強すぎる場合 ○糸の通し方が間違っていたり、必要以外のところからんでいる場合	薄物を縫うときはできるだけ糸調子をゆるめてください。 正しく通します。6ページ参照
モーターの故障	○雑音がする ○モーターが全然回らない ○火花が異常に大きい	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 5px;">}</div> <div>カーボンブラシの交換</div> </div> <p>(注)カーボンブラシの交換はお買上げの販売店に依頼してください。</p>

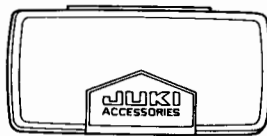
布地と糸との関連表

布地の種類	糸の種類	縫い目の長さ
薄地 (薄トリコット、タフタ、絹クレープ、洋服裏地)	綿 #80～#100 絹 #80～#100	縁かがり 2.5mm～4mm 二重環 2mm～3mm
普通地 (木綿地、トリコット、リンネル、サテン、一般服地)	綿 #60～#100 絹 #50～#100 化繊糸 #60～#80	縁かがり 2.5mm～4mm 二重環 2mm～3mm
厚地 (ツイード、コート地、デニム、厚手服地)	綿 #40～#60 絹 #40～#60	縁かがり 2.5mm～4.5mm 二重環 2mm～4mm
ニット地 (メリヤス、ジャージ)	綿 #60～#80 ウーリーナイロン 化繊糸 #60～#80	縁かがり 2.5mm～4mm 二重環 2mm～4mm

付属品の明細



頭部ビニールカバー



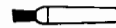
付属品箱



下メス



ドライバー小



掃除用ブラシ



ドライバー中



油差し



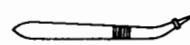
糸巻当て座4コ



針8本



スパナ



ピンセット

MO-104の仕様

縫い速度 最大1500s.p.m.
 かがり巾 4mm
 針巾 3.2mm
 縫い目 2～5mm
 押え上げ量 4.5mm
 使用針 BL×1、#11、#14、JL×1、#14
 ミシンの大きさ 263 × 236 × 280mm
 (タテ) (ヨコ) (タカサ)
 ミシンの重量 9.5kg

梱包明細

1. ミシン (モーター付き) 1セット
2. コントローラーペダル 1式
3. 使用説明書 1冊
4. 付属品箱 1個
5. 糸立糸案内 1個
6. 検査合格証 1枚
7. 補助ベット 1個

JUKI

JUKI 株式会社

〒182 東京都調布市国領町8-2-1

☎03-480-5655

